

# 東大和三中だより

平成30年7月18日

7月号 (No.4)

発行 東大和市立第三中学校

〒207-0016 東大和市仲原2-7

TEL 042-564-5411

## 逆境が人間を進歩させる

東大和市立第三中学校長 井上 敬夫

先月から今月上旬にかけて、世界中がサッカー・ワールドカップの話題で持ちきりでした。日本では、代表チームが予選リーグを勝ち進み、決勝トーナメント1回戦でも強豪チームに最後まで善戦したことが、日本国内を大いに盛り上げたのは間違いありません。

帰国した代表チームには、空港では大勢のサポーターが出迎えて、「よく頑張った」という労いの言葉をかけている映像が流れていました。一方、「こうすれば勝ち上がることができたのではないか？」という意見も出てきて、大会自体が終わった後も、ワールドカップを振り返っての議論が続いています。これは、過去の大会ではなかった現象です。なぜ、こんなに盛り上がったのでしょうか？

そもそも、今回のサッカー日本代表は、監督の解任騒動などがあって、世間的にはあまり期待されていませんでした。確かにここまで勝ち上がったのは、運の部分もあったかもしれません。期待されていなかった反動から、ベスト16まで勝ち残った衝撃が大きかったのは間違いありません。

今回の躍進を選手の側から想像すると、サポーターにも批判され期待されない大変な状況の中で、「よ～し。見返してやろう！」という反骨精神が原動力になっていたように感じます。もともとサッカーの日本代表に選ばれる選手たちですから、サッカー選手としての能力は高かった筈です。それに今回の逆境が大きな力を与えたのだと思うのです。

あまりきれいな言葉ではありませんが「火事場の馬鹿力」という慣用表現があります。火事などの生死を分けるほど追い詰められた状況で、信じられない力を発揮するという意味です。今回のサッカー日本代表の姿は、逆境に強い人間の姿を見せてもらったというのが私の感想でした。

さて、夏休みになります。3年生は本格的に受験勉強に突入します。学校という枠組みから離れた中で、学習に取り組むのはなかなか厳しいものがあります。まさに「逆境」です。その中で、どれだけ頑張れるかが大事です。そしてそれは自分を進歩させるチャンスと考えて欲しいです。また、1・2年生は、長期休業中の機会を利用して、何か新しいことに挑戦して欲しいです。「新しいこと」とは、自分に大なり小なり負荷をかけることになります。乗り越えた時に、一回り大きな成長を遂げた自分の姿を自覚する筈です。

二学期、成長した三中生との再会を楽しみにしています。

# 中学生意見発表会

7月7日（土）七夕の日に、東大和ハミングホール大ホールにて、「中学生意見発表会」が行われました。市内の各中学校から計6組が、「協力と絆で地域の輪をひろげよう」というテーマで発表をしました。三中からは、3年生の2名が体験をもとに、堂々と自分の思いを述べました。



司会も含め、会の運営は市内中学校から名乗り出た実行委員の手で主体的に行われました。

## 職場体験を通して学んだこと

3年 男子 女子

私たちは、1年の1月に3日間の職場体験をしました。職場体験とは、各事業所に数名ずつ分かれて、仕事をお手伝いするというものです。



私は「やまとあけぼの学園」という施設に行ってきました。そこは、心身に障がいのある就学前の子供たちに対し、自立のための手助けをする施設です。最初の事前学習では、「楽しみだなあ」と思う反面、「どんなことをするのだろう、私にちゃんと仕事をするのができるのだろうか」という不安を抱いていました。

そして体験当日、不安を抱えて事業所に向かいました。しかし、事業所に着いて、担当の方の話を聞くと、少し緊張がやわらぎました。1日目は、園児と遊んだり、身の回りのお世話を手伝いました。園児たちはとても明るく、「いっしょに遊ぼう」と言ってくれ

たり、遊んであげるとすごく喜んでくれたりして、本当にうれしくなりました。

2日目は、また違ったクラスを担当しました。前日と同じように接しても、あまり興味をもってくれず、「いっしょに遊ぼう」と声をかけても返事をしてくれませんでした。「私、何がダメだったのかなあ」と落ち込んでいると、担当の先生が「大丈夫。返事はしてくれなくても、いっしょに遊んであげたら喜ばず。」とアドバイスをもらい、その言葉どおりにいっしょに遊具で遊んだり、追いかけてっこをしたりするとすごく笑顔になってくれて、こっちまで笑顔になりました。担当の先生には、「ありがとう。園児たちも喜んでいたよ。」という言葉いただきました。

今回のこの体験を通して、たくさんのことを学びました。実際に体験してみると、思っていたのと全く違って、想像以上に忙しくて大変でした。つらいこともあったけれど、その分園児たちと仲良くなったことが本当にうれしかったです。園児たちより、私の方がこの3日間を楽しんでいたかもしれません。また、先生方と協力して作業をしたり、アドバイスをいただいたりすることで、先生方との絆も深まりました。この体験で、ただ単に仕事の大切さだけでなく、人と接する際に人を気遣うこと、協力しあうことなども学べ、3日間という短い期間で人として成長することができました。本当に貴重な体験をしたと思います。

私たち中学3年生は、今までの中学校生活を通して様々なことを学び、成長していくことができました。この成長はけっして自分一人の力ではなく、家族や友人そして私たちの安全を見守ってくださる地域の方々の支えがあったからこそできたことです。そのような地域の方々との絆を深めることは私たちにさらなる出会いの機会を与え、地域の輪が広がっていくことで、私たちの可能性を広げてくれます。今回は、地域との絆を深めることを目的



としておこなっている三中の活動について、皆さんに三つ紹介しようと思います。

一つ目は、先ほども説明がありましたが、1年生の3学期に行われる職場体験です。この活動は、生徒たちが保育園、児童館、薬用植物園など、全部で54カ所の職場を訪問し、仕事のお手伝いなどをさせていただくことで、自分たちの地域の仕事について理解し、将来の夢について考えることを目的として行われています。



他の学校が、パワーポイントを使ったり、生徒会役員による寸劇を取り入れたりする中、正統派の意見発表を披露してくれました。最後に、尾崎市長より感謝状が贈られました。

二つ目は、毎年11月に行われ、例年200名以上の生徒が参加する「東京街道団地ボランティア」です。これは、団地にお住まいの高齢者の方々のお宅を訪問し、贈り物をしたり、高齢者の方々とお話ししたりする活動です。私も、2年生のときに初めてこのボランティアに参加しました。正直はじめは今まで一度もボランティアに参加したことがなかったので、一度くらいはボランティアに参加した方がよいという義務感からこの活動に参加しました。しかし、私たち中学生が来るのを毎年楽しみに待ってくださる高齢者の方々のたくさんのうれしそうな顔を見ることができ、ボランティア後には大きな達成感から心の底から参加できてよかったと思いました。今年もぜひ参加させていただきたいです。

三つ目は、2年生の3学期に行われる「ふれあい体験学習」です。これは総合的な学習の時間に高齢者施設や認知症などについて事前学習を行い、その後実際に数名のグループに分か

れて地域の福祉施設を訪れ、半日の体験学習を行うという活動です。

私はこの体験学習で特別養護老人ホーム「風の樹」を訪問し、仕事のお手伝いや入居者の方々とお話をさせていただきました。その会話を通して、様々な貴重な話を聞くことができましたが、中でも印象に残っているのは、体験の最後にお話をさせていただいたおばあさんが何度も強調していたことです。そのおばあさんは、私たちと同じ歳ぐらいの頃に日本が終戦を迎えたため、十分な教育を受けられなかったそうです。そのため、私たちにせつかく平和になったのだから、あなたたちはしっかり勉強してくださいねと何度もおっしゃっていました。私は、この言葉を聞いて、友達と楽しく笑い合いながら平和に中学校生活を送り、勉強することができるのはとても幸せなことなのだということを改めて感じました。私たちは、どんなに幸せなことがあっても毎日続いていると、いつしかそれが当たり前と思うようになってしまいます。皆さんの日常の中にも、当たり前になってしまっているたくさんの幸せなことがあるのではないのでしょうか。

私は、残り少ない中学校生活を家族や友人、地域の方々への感謝の気持ちを忘れず、日常の中にあるたくさんの喜びや幸福を感じ取りながら、より充実した日々を過ごしていきたいです。

## お願い～「学校閉庁日」について～

5月15日に教育委員会より出させていただきました文書のとおり、以下の期間は「学校閉庁日」となります。ご理解のほど、お願い申し上げます。

平成30年8月13日（月）から17日（金）の5日間

- ・ 学校への来訪やお電話等は、この期間以外にお願いいたします。
- ・ 緊急に連絡が必要な場合は、次の連絡先へお問い合わせください。

東大和市教育委員会 教育総務課・教育指導課 東大和市中心3-930 市役所5階  
電話番号 042-563-2111

受付時間 8時30分から17時15分まで

# クリーン活動

7月14日(土)、気温36度の猛暑の中、恒例の「クリーン活動」が行われました。「日本を美しくする会」「東京掃除に学ぶ会」の方々のご指導のもと、一般参加の方、保護者、生徒合わせて70名ほどで、トイレも心もピカピカに磨き上げました。



開会式。指導をしてくださるリーダーの方々の紹介。



リーダーの指示をしっかりと聞いて、作業に入ります。



便器に手を突っ込んで、黒ずみを必死に落とす。



排水口にたまった「ヘドロ」もきれいに洗い落としました。



部活の練習時に使用するトイレを美しく磨き上げる。



タイルをたわしとクレンザーで磨いた後、乾いたタオルをつかって拭き上げる。



「東三会」の方々、育てたじゃがいもをゆでていただきました。昨年と違って、冷房の入る調理室は快適。



終了後、グループごとに、談笑しながら、じゃがいもをおいしくいただく。



最後に、「美しくする会」の会長さんのお言葉を胸に刻んで、約3時間の活動を終えました。

